

みしま 議会だより

No.023

発行
令和7年
11月

9月定例会報告

『9月定例会の一般質問』…………… 2

『9月定例会の紹介』…………… 9



『9月定例会の一般質問』

この場で議員は、政策の執行状況や将来への取り組みなどについて、村に報告や説明を求めます。議員は一般質問をすることで、村が住民のために適切な行政運営をしているかチェックします。

日高学議員

大里地区在住

Q 「耕作放棄地改良事業の新設要望」

日高学議員 高齢化や長期入院中などで荒れ放題の耕作放棄地を新設の改良事業として組み込めないか？

経済課長 全国的に耕作放棄地の問題で2023年4月に施工改正農業経営基盤強化促進法で地域計画の策定が義務付けられた。目標地図を作成し地域ごとの課題を洗い出し農地を集約する本村の農地面積は521.7ヘクタールうち畑の面積が



1.5ヘクタールうち80歳以上の農業者の畑地面積の合計が0.5ヘクタールである。今後は農業委員会と連携を図りながら農地パトロールを強化し状況把握に努めたい。その上で今後予算措置が必要になった場合は予算化を検討したい。

日高学議員 0.5ヘクタールの農地以外の畑地を山にして良いのか、定住で視察に来てでもジャングル化した集落に誰が住もうと思うか、その辺の所を行政主導で取り組んでほしい。

Q 「港湾工事の遅れについて」

日高学議員 竹島港や黒島大里・片泊港の遅れは顕著である。こうした公共事業の停滞は地域の活性化に陰を落とし、プラントや雇用までなくしてしまった。首長のお考えをお聞かせ下さい。

経済課長 本村では国の交付金を活用して港の整備を進めている。竹島港整備率50%、西防波堤が整備率25%、大里港沖防波堤が整備率45%、東防が整備率56%で、令和8年度に大里港東防波堤整備事業の要望を予定、令和9年度に港湾整備交付金で予算要求を行う予定。

大里港は堆積土砂の浚渫工事を毎年実施。緊急を要するため早急に東防波堤の整備を進めたい。竹島港は令和4年から県の管理港にできないか要望、協議を続けている。今後もし港湾整備に関しては村の財政状況も勘案しながら計画を進めていきたい。

日高学議員 竹島と黒島の港は、説明の通り50%とか25%とか到底満足いくものではない。いつ壊れるかわからない状態だと思っている。絶えず荒波に晒されていて痛みが続いている。維持管理も含めて今後積極的に国ないし県に予算要求していく必要性があると思う。

Q 「代替発電による自然破壊について」

日高学議員 太陽光パネル発電装置では環境破壊や経年劣化による有害物質の漏洩、火災の恐れ、また洋上風力発電設備には海洋汚染や潮流変化で起きる魚介類への悪影響など考えられる被害は未知数である。

それに再生エネルギーの付加金が勝手に毎月各家庭から自動的に徴収されている。その流れで遂に東京都では今年度から新築住宅の屋根に太陽光パネルを義務化する半強制的な条例が制定されようとしているようです。よもや三島村はそうした流れに便乗するお考えはないか、首長のお考えをお聞かせ頂きたい。

総務課長 議員が懸念される太陽光、洋上風力発電は、温室効果ガスを削減するための国の取り組みで、戸建て住宅などに太陽光パネルの設置義務付ける件は承知しておりますが本村は全く考えておりません。

洋上風力発電は国が進める政策の一つで、今後促進区域に指定されれば事業化の可能性はあるが、クリアすべき条件があつて本村海域に整備

される可能性は極めて低いと考えています。また最近では大手企業が撤退表明しており事業環境は厳しく、非現実的な状況です。いずれにせよ最終的に賛否を決するのは住民の皆さんであると認識しています。

日高学議員 万が一そうした事案があれば住民の声を一番に考えて進めるといってお答えありますがどうございませう。ただ他県には知らない間に外資が巧妙に入り込んでいくといった状況があるので、自治体の弱みに付け込まれて取り返しのつかない事にならないようにして頂きたい。

Q 「線状降水帯への備え」

日高学議員 今年の線状降水帯で霧島市一带は24時間で総雨量500mmを超え、8月の1ヶ月分が降つて甚大な被害をもたらした。他にも日本各地で発生している。今後三島村でも発生した場合、役場本庁は鹿児島にあるため実感とかないんでしようが島は、ハザード状態に陥ります。役場から即島に行けるわけでもなく、実感に乏しい中で色々対応策を考え

ざるを得ないのでしようが、島民の実体験に基づいた施策を講じて頂きたい。特に今あるハザードマップは信頼性に乏しいので新たにこうした線状降水帯用の想定した新ハザードマップを早急に作成いただき、もし明らかに避難場所に危険性が想定される場合は強固な擁壁などの対策を講じていただきたい。

総務課長 近年全国各地で線状降水帯が発生して大きな災害が発生しています。正確な予想は非常に困難だとも言われています。ハザードマップは令和5年度に国庫事業で整備したもので鹿児島地方気象台鹿児島県三島村の所有データや現地調査の結果を網羅したものです。信頼性に乏しいというご指摘でしたが、関係機関の連絡会議で内容を吟味して協議していますし、必要に応じて見直しを検討する方針です。

避難所の選定は建物の安全性や機能集落との位置関係等様々な観点から総合的に選定しています。避難所の周辺に限らず避難所に着くまでのルートや港や場外離着陸場までのル

ートなどあらゆる観点から重要度緊急性を精査して必要に応じて事業化を検討して参りたい。

日高学議員 大里ふるさとセンターは5mも離れず県道の法面が切り立ち、過去に崖崩れで建物ぎりぎり土砂が押し寄せたが、ハザードマップでは依然として避難所となっている。

信じられないかもしれないが、学校も川の氾濫で1m位浸水した事があるし、県道改良工事で舗装前のカチカチ底盤が深さ1m以上2、30mに渡り流された事もあった。想像を超えた被害を未然に防ぐためにも地域に密着したハザードマップづくりに務めて頂きたい。

村長 港の整備についてこれまでとこれからについてお話したい。県の管理港、硫黄島港は平成19年度でほぼ終了し、残すはランプウェイの一角



の堀の埋立を県に要望している。以前に比べ事業費は絞られてきている。

港湾事業は現在では財源の中身が交付金下になった。以前は国土交通省と予算を決めて事業を進めてきたが、現在は県の厳しい流れの中でやり取りしている。

竹島港は今後国や県に新たなスキームの条文を入れ込むよう陳情を重ね、県の管理港にすべく辛抱強く進みたい。また大里港は砂泥の浚渫に莫大な費用負担が恒例化しているが、原因が判明したので約2億の費用負担になると思うが、本船の離接岸に重要なので優先性を持ってやります。

また霧島市の大雨災害のお話がありました。(線状降水帯が発生した時は)各自自治体の首長が気象台と電話で協議しますが、一刻を争う場合が想定されるので、空振りでもいいから首長にしっかりとした情報をくださないと要望しました。黒島など河川が多い地域で災害を防ぐべく、ハザードマップ等を現行化していくなど、しっかりと対応したい。

Q 「退職者の多い役場の現状に へん」

徳田保議員 私が以前、職員の退職が続いていることについて、職場環境等のことも含め質問しました。その時の答弁では職場環境は適正だということでしたが、その後も次々と退職者が続いており異常な状況です。

さすがに以前の答弁は言い訳に過ぎず、私も村民の方々もたいへん不安になっています。何か大きな原因があるだろうと思っています。このままでは、さらに退職者が続くと思われる。改善すべきところはしっかりとつて、これ以上退職者が出ないよう対応してほしい。実際、退職によって事業の遅れも生じていたようです。最終的には村民に迷惑をかけます。

退職に至る原因、職場環境や業務等に支障はなかったか。

総務課長 今年度に入り、半年間で5人の職員が依願退職しました。退

職理由は様々でしたが、ご指摘の通り職場環境の改善も必要かと考えています。そのためには退職理由の把握が必要ですが、私が把握している内容が全てとは考えていませんので、周りの職員にも聞き取って、把握と改善に努めたいと考えます。

職員の退職により、事業の進捗が遅れた事実も認識している。そのような事態が発生しないように他の職員も尽力したが、結果として村民の皆さまにご迷惑をおかけすることになり、たいへん申し訳なく思っています。今後、そのようなことがないように対処したいと考えています。

役場には人事評価制度があり、各職員の担当業務の目標と実績について担当課長と協議し、評価を行う制度があります。この際、職員の仕事上の悩みや要望等を聞くこともありますが、今後はこのような面談の機会を重視し、早めの対応に努めたいと考えます。

徳田保議員 原因がはつきりしないなら職員の皆さんにアンケートして



意見をまとめてほしい。私達は島にいますが色々な情報が入ってきます。

職員によって対応が違うことはあってはならないことです。優秀な職員が次々と退職していくことは村にとっても大きな損失です。

若い職員が増えているようだが数がそろえばいいのではなく、長い年月をかけ村の状況、業務の内容に経験豊富な職員が退職する現状です。

村長におうかがいします。退職者が続く原因は何だと思うのか。またこれまで職員への対応は適切だったか、振り返って反省点があれば、どのように改善すれば職場環境が良くなるのか、ご答弁をお願いします。

村長 若い職員も含めて多くの退職者がでているのは事実です。当然責任者は私であり報告は受けてますし

退職する職員とも、じかに話をし、何がどうだったのか、当人も私にも言えない事もあるかもしれません。

何が原因なのか当人はあーだのこーだのと言われますけど実際の所、どうなのかわからない所もあります。私自身も仕事にストイックになりすぎてどうかなという事もあったのかなと、これに関してはこれからしっかりと反省し、また職員の方からも厳しい意見も言われた事もあります。そこはしっかりと話を聞いて受け答えもして来たつもりであります。

これからしっかりとここで働く意志をもっている訳ですので長く続け勤めていただくよう皆で二丸となつて村の運営に支障きたさないようにしていかねばならないと思っています。

徳田保議員 部下の方々は村の事を思い仕事をしています。まず聞く耳をもつ事が大事である。しっかりと部下の意見を聞いて、そこで議論しながら村の為になることを進めていく。部下が意見をした時に、こいつは生意気だという思いではなく、いい意

見だと思い、まず話を聞く。

村民の皆さんから不快感をもたれては行政は成り立たない。その事は肝に命じてしっかりとやって頂きたい。我々も職員も村を思う気持ちには同じだと思うのでお互いに理解しながら、胸にぎざんでいただきたい。

村長 今おっしゃったとおりでして、私も地元で育って生活してまいりました。村長になって島に帰りますと色々な意見をうかがいます。厳しい意見もあります。言われた事は私もしっかりと分かっているつもりでありますのでしっかりと見せれるよう務めてまいりたいと思います。

中原良範 議員
竹島地区在住

Q 「ゴミ収集車について」

中原良範議員 人口減少で青年会員も減り、教員等の参加で活動しています。現在、車両は個人のものを使用しており、車の免許もオートマ限定が多く、運転制限され、不便を

きたしています。ゴミ収集は青年会の活動費の重要な財源です。各種団体、地区会からの要望もあり、オートマの軽トラを購入してほしい。

民生課長 竹島地区のゴミ収集は現在、民生課で管理する2トンダンプ車を運用いただいております。このダンプ車は平成12年度に導入して相当の年月を経ますが、定期的な整備で、いまでも使用可能な状態です。新車両の導入について、ご指摘のとおり地区の皆さまからご要望があることは承知していますが、現行のダンプ車との入れ替え時期に合わせる事が妥当だと考えています。

また青年会の皆さまが個人車両でゴミ収集にご協力頂いていることも承知しています。ご負担を抱えながら地域の重要な役割を担って頂いていることに心から感謝申し上げます。



一方で、行政としては、地区のゴミ収集は民生課管理の2トンダンプを基幹とする運用を基本としており、個人所有車両の使用までは制度上想定していないのが現状です。

直ちに新たな車両の導入は難しい状況ですが、皆さまの活動が円滑に続けられるよう今後のダンプ車の更新時には、運転免許の状況や活動の実情も踏まえた車種選定を検討課題したいと思います。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 「村営住宅の管理について」

中原良範議員 村営住宅の規制では、入居する際の増改築は役場の許可で行っていると思います。また退去時は元に戻すともうたっています。元に戻さず出ることをどう思うか。また役場立会いで行われているのか。

定住促進課長 村営住宅は、三島村村営住宅管理規則に基づき管理しており、増築や模様替えする場合は「住宅増築（模様替え）承認申請書」にて村の許可が必要です。申請者にも「住宅の明渡しの際は、入居者の費

用で原状回復又は撤去を行います」との記載もあります。

また同規則は住宅管理者を各出張所長と定め、入退去時は出張所長が立会います。入居者の責めに帰すべき住宅の破損や、模様替えをした場合等は入居者負担での原状回復を定めており、適切な対応をお願いしています。入居者の都合で原状回復されないケースもあります。その場合、施設本体や次の入居者の不利益にならない模様替えは原状回復しないことも検討されますが、基本的には入居者への交渉を継続します。

Q 「災害予防について」

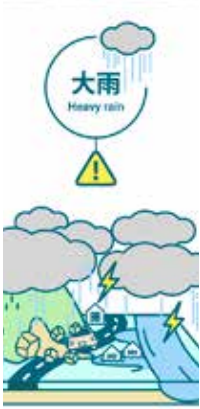
中原良範議員 台風、線状降水帯の発生で多数の被害が出ている。避難場所の確保、発電機の整備、各地区への連絡等の準備は十分ですか？

総務課長 村内の避難所は、三島村地域防災計画にあるとおりです。これまで避難所にも被害がありました。その都度防災機能を強化して、避難住民の安全確保に努めています。

近年、電源の確保と暑さ対策が課題ですが、現在は非常用発電機や冷房機器が配置されています。つい先日LPガス協会からLPガス仕様のエアコン設置について情報提供がありました。今後、実用性の可否を研究したいと考えています。

地区への連絡は、台風は発生で24時間前から予測が発表されるので、役場で対策会議して出張所長に指示を出し、以後も情報を提供しています。内容は消防団とも共有します。またコンパネ等の対策資材は7月に各地区に確認して必要な資材を提供します。

線状降水帯は発生過程が未解明で、昨年の気象庁の予報的中率は約10%と発表されています。的中率が低いと防災上マイナス効果が懸念されるが、役場としては、今後も関係機関から情報があれば、速やかな情報提供に努めたいと考えています。



Q 「村政懇談会について」

中原良範議員 これまで地域住民との懇談会に要望がありましたでしたが実施されていません。どう考えているか。

総務課長 村政懇談会の開催については再三要望があり、その重要性を十分認識しています。今年度は大きな行事が連続し、常に検討はしてきましたが、日程が調整できず現在に至っています。10月以降も日程の調整が難しいと考えています。今後はWEBでの開催など、地域の意見も聞きながら実施を検討します。

宮田穰 議員 大里地区在住

Q 「新型コロナワクチン接種について」

宮田穰議員 2025年9月11日、厚生労働省公表分のワクチン接種後の健康被害認定数9290件のうち死亡者数が1035件で、先月9月18日に一般社団法人ワクチン問題研究会がメッセンジャーRNAワクチン

チン(メッセンジャーRNA脂質ナノ粒子製剤)の承認取消と市場回収を求める記者会見が行われ、その要望書が厚生労働省へ提出されました。

治験が未完全な人類初めての遺伝子ワクチンを緊急承認し、厚生省に医療機関から自発報告としてワクチン接種後に亡くなったという報告だけでも2000件を超えている。

副反応疑いの総数が4万人に近づいている。この新規遺伝子治療薬、この遺伝子を安定したMessenger RNAはDNAに取り込まれる。最近出た論文の中では癌の細胞や脳卒中の患者さんや様々な病巣からスパイクタンパクが見つかったという報告がある。

副反応は短期で発症するものと、数ヶ月、数年かかるものがあると考えられる。今のまま市場に残して定期接種を続けると確率事象として一定の確率で必ず起きる。国民の健康や命は何よりも最優先されるべき事で、地方から声をあげていかなければいけないという訴えであります。

10月からの新型コロナワクチン接種が始まるにあたって、これまで再三要望してきた厚生省の発表している新型コロナワクチン接種後副反応被害者数のデータを、ホームページ上だけでなく高齢者を中心に島民にも解りやすく周知徹底という要望が叶わない。状況をお伺いしたい。

民生課長 厚生労働省が公表している副反応や健康被害の統計データは、村のホームページに掲載している。

ワクチン接種が任意の医療行為なので、住民の接種判断に影響を与える可能性も留意して、現状はホームページ上で統計データを周知するにとどめている。

参考までに、令和7年8月末時点、厚生労働省のホームページ上での報告は、申請受理数、約1万3500件、健康被害認定数9200件、



死亡事例認定数、1050件。この中で明確に因果関係が証明された件数は2件と、厚生労働省の予防接種、健康被害救済制度に関する情報として掲載されている。

村としては、今後も科学的治験と国の方針に基づき、住民の皆様が安心して接種の判断を行えるよう、正確かつ丁寧な情報提供に努めます。ご理解のほどよろしくお願いします。

宮田穰議員 今までも厚生労働省の薬害、訴訟が起こっている問題、例えば、子宮頸癌ワクチンの問題であったり、薬害エイズの問題であったり、反省の碑も、厚生労働省にある。今回ももう1000件を超えている。ホームページだけではなく、島民の皆様に分かりやすく、デメリット、メリットがあるということを、引き続き、周知徹底していただきたい。

Q 「フェリーみしまの枕崎航路」について

宮田穰議員 南日本新聞で拝見した三島村営船を枕崎にという声がある。新たな港が増えると急患搬送や

搬送先など、医療面、介護福祉サービスの体制が強化されるのでは。急患の海上搬送で南薩との連携がとれる。食料や物資の新たな流通経路の充実で新鮮な生鮮食品などが調達しやすくなったり、アイデア次第では様々なイベントや文化交流など枕崎だけでなく南薩へのルートに新たな展望が拓けてくると思います。

南九州市の9月議会では、私の同志のしい千恵議員の一般質問で三島村について質疑があり、知覧特攻平和会館と黒島との繋がりが、双方で行われた慰霊祭の事などのやりとりがあり、それらを踏まえて大野岳展望所や番所鼻自然公園の劣化した三島村の案内看板を新たに設置する事は出来ませんか？という質問に三島村の村長と相談して新たに設置したいと思います！と南九州市長の心暖まる答弁を拝見しました。

本土最南端の港と繋がることで南薩の様々な市町村との交流が深まり、利便性が向上し、それぞれの地域が活性化すると思います。実現に向けてご計画等あればお伺いします。

船舶課長 もし実現したら、村にとつて利便性があると考えている。

2009年度から6年間実証運行し、2016年中を目処に、国が認める補助航路として、枕崎港に寄港する予定で、鹿児島運輸支局や鹿児島県、枕崎の船舶岸壁を管理する枕崎市と協議を重ねたが、同年3月、枕崎市から多目的岸壁への寄港は、調整が取れないとの事でやむなく断念した。実現に向けて村としての計画はないが、今後枕崎市より要望あれば、再度検証し国や県との協議を進めます。

村長 枕崎寄港の発端は、フェリーの一日二便を目標にしたことから。フェリー航路は海上の国道だと国に訴えてきた。補助航路は財政負担を国や県も伴うので欠損額を減らす要望があったが、欠損額があっても人が生活に必要な航路だと議論してきた。それで枕崎に寄港させてもらえないか



という話になつて実証運行が始まったが、定期船がつく岸壁は他の事業者と共有する為、調整がつかず断念した。港の調整がつけば、国や県と協議再開して住民の方々にもご意見をお伺いしたい。今のところは停滞状態だがこれまで同様、枕崎とつながりは持ち続けていきたい。

Q 「島外排出」の処分と費用について

宮田穰議員 ゴミの処分費用は、業者に委託して、重量が算出の基礎になつており品目ごとの内訳は把握していないとの事だったが、最終処分場へ行く過程と費用の詳細の把握が必要と考えます。それを踏まえ、経費削減していく計画があればお伺いしたい。

民生課長 島外搬出ゴミの処分は、分別されたゴミを船舶輸送の後、民間業者に委託して、県本土の処理施設へ搬出する。最終処分の費用は現状、品目ごとの費用内訳は把握困難。

処理費全体の推移は、令和6年度決算額で可燃ごみ、これは焼却炉の灰の費用だが約17万6千円、不燃

ごみや危険ごみ、約16万3千円、資源ごみ約113万円など、合計で約150万円となる。こうした通知は、村のゴミ排出実態を示す指標となるので、今後の処理経費の抑制に努めていく。

宮田穰議員 費用がかかることは承知している。6月議会に村長から御蔵島の話がありました。大里地区は住宅用の土地がないそうだが、御蔵島にはドームハウスやタイニーハウス等が狭小地や傾斜地にも、補助金を使って7〜800万円で建っているという話があった。ゴミにかかる費用をなるべく削減して、そのような住宅を導入して、この問題を解決できるように働きかけていただきたい。

山田和広 議員
片泊地区在住

Q 「ドック時期について」

山田和広議員 みしまドックを9月以外の月に移動できないか。9月は地区・学校等の行事が多く、ドックでの船便減少により支障がでている。

船舶課長 以前2月に移動したが、生徒の入試等と重なり不評だった。ドックの流れを説明すると4月に試算を始めて2〜3ヶ月かかるので6月までは無理、7月・8月は夏休みと観光客が多いのでよろしくない。9月を除くと、10月・11月とはとしまのドック、12月・1月年末年始となり、消去法で9月と10月のどちらかになる。今後どの月がいいか住民の意見を重視していきたい。

岩切平治 議員
硫黄島地区在住

Q 「予算について議会と事前協議する可能性」

岩切平治議員 村の重要事項の予算に関し議会との事前協議の導入の有無について質問

総務課長 議会の全員協議会や地元懇談会等を通じて住民等の意向を把握しながら予算編成を行ってまいりたい。現在のところ協議を定例化する考えはない。

Q 「譲渡する海底ケーブルに関する質問」

岩切平治議員 村が所有する海底ケーブル等の譲渡に関し、検討状況及び譲渡の状況は？

総務課長及び副村長 16芯全部を譲渡。現在のところNHKとNTTが協議中、年度内にまとめて報告予定。譲渡後は例えば議会中継などは通常のネット環境を活用予定、他の遠隔診断システムなどの利用については今後の検討。かかる経費等についても今後の検討課題と認識している。

Q 「定住者の相談役」

岩切平治議員 定住者の相談者を地域に配置する考えはないか、また、定住者が行う事業によつて3年の支援を5年にするなどの延長は考えないか。

定住促進課長 定住者の日常的な



困りごと等は遠慮なく定住促進課へ、また身近な人に相談して解決しない場合などは地区長に相談するよう伝えている。定住支援の長期化は、必要に応じて検討することとなる。

『全員協議会の紹介』

徳田保議員

○畜産廃棄機械類の処分をお願い
○開発センター講堂にエアコン設置をお願い

○硫黄島地区の水道設備の総点検をお願い（点検不足で断水になったことから）

岩切平治議員

○飛行場の待合所の整備

宮田穰議員

○学校集会室の電気配線回路の調査、改善と校舎からのダクト工事による空調整備の提案

○レンタル高所作業車使用の幹旋希望

○通学路街灯断線、早急な九電への対応要求

『9月定例会の紹介』

9月定例会では、昨年度の決算が行われ、議会は決算書の認定を求められます。ここで議会は行政が予算を正しく使ったかチェックします。予算と違って認定しなくても行政運営への直接的な効力はありません。お金の使い道を行政と議論して、今後の予算組みに活かします。

なお、決算が終わると、行政は来年度の予算を11月後半から作成し始めます。そのため9月から10月は、村政への要望を、来年度予算に組み込んでもらいやすいタイミングとなります。

【概要】・10頁上のグラフを参照

令和6年度三島村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

【採決】可決

令和6年度
硫黄島村営住宅新築工事の工事請負変更約の締結

【採決】可決

【質疑】



岩切平治議員 契約金額に影響ない工期延長は、議会の審議を得ずに契約変更できないか。

総務課長 法令上可能かどうか検討する。

令和7年度
三島村立義務教育学校情報機器等整備事業の物品売買契約

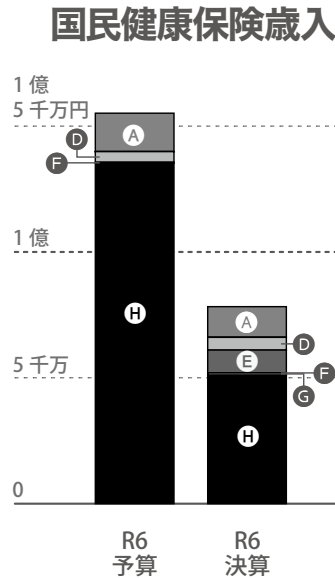
【採決】可決

令和6年度三島村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

【採決】可決

令和6年度
予算合計
1億5512万円

- A 国民健康保険税 1527万円
- B 使用料及び手数料 0万円
- C 財産収入 0万円
- D 繰入金 430万円
- E 繰越金 0万円
- F 諸収入 29万円
- G 国庫支出金 0万円
- H 県支出金 1億3525万円

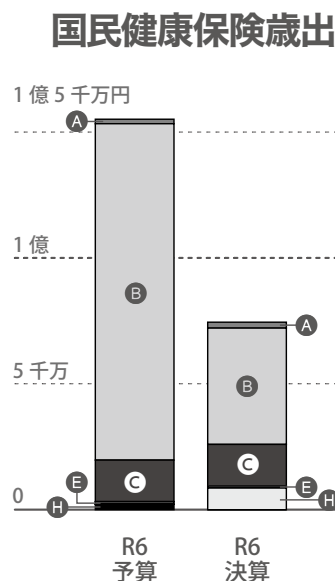


令和6年度
決算合計
7827万円

- A 国民健康保険税 1219万円
- B 使用料及び手数料 0万円
- C 財産収入 0万円
- D 繰入金 505万円
- E 繰越金 907万円
- F 諸収入 4万円
- G 国庫支出金 82万円
- H 県支出金 5107万円

令和6年度
予算合計
1億5512万円

- A 総務費 178万円
- B 保険給付費 1億3362万円
- C 国民健康保険事業費納付金 1650万円
- D 共同事業拠出金 0万円
- E 保険事業費 104万円
- F 基金積立金 0万円
- G 諸支出金 0万円
- H 予備費 216万円



令和6年度
決算合計
7450万円

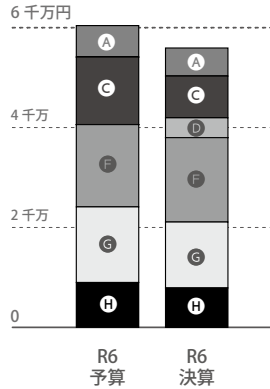
- A 総務費 235万円
- B 保険給付費 4619万円
- C 国民健康保険事業費納付金 1650万円
- D 共同事業拠出金 0万円
- E 保険事業費 83万円
- F 基金積立金 0万円
- G 諸支出金 861万円
- H 予備費 0万円

【概要】・左のグラフを参照

令和6年度
予算合計
6041万円

- A 保険料 629万円
- B 財産収入 0万円
- C 繰入金 1351万円
- D 繰越金 0万円
- E 諸収入 0万円
- F 国庫支出金 1647万円
- G 支払基金交付金 1513万円
- H 県支出金 898万円

介護保険歳入



令和6年度
決算合計
5592万円

- A 保険料 561万円
- B 財産収入 0万円
- C 繰入金 835万円
- D 繰越金 396万円
- E 諸収入 0万円
- F 国庫支出金 1689万円
- G 支払基金交付金 1319万円
- H 県支出金 789万円

【概要】・11頁上のグラフを参照
【質疑】

令和6年度
三島村簡易水道特別会計歳入
歳出決算認定

【採決】可決

【概要】・左下のグラフを参照

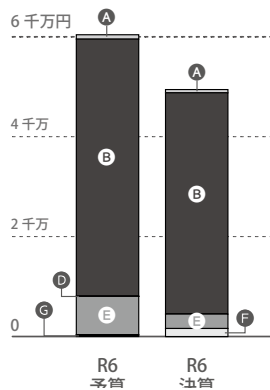
令和6年度
三島村後期高齢者医療特別会
計歳入歳出決算認定

【採決】可決

令和6年度
予算合計
6041万円

- A 総務費 87万円
- B 保険給付費 5147万円
- C 財政安定化基金 拠出金 0万円
- D 基金積立金 2万円
- E 地域支援事業費 769万円
- F 諸支出金 0万円
- G 予備費 34万円

介護保険歳出



令和6年度
決算合計
4944万円

- A 総務費 64万円
- B 保険給付費 4430万円
- C 財政安定化基金 拠出金 0万円
- D 基金積立金 0万円
- E 地域支援事業費 287万円
- F 諸支出金 161万円
- G 予備費 0万円

令和6年度
三島村特産品焼酎事業特別会
計歳入歳出決算認定

【採決】可決

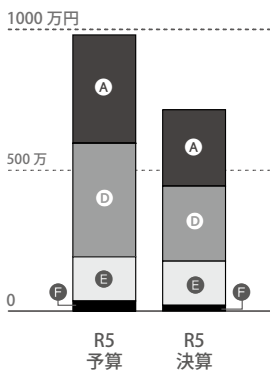
経済課長 令和7年度の会計へと
承継される。

岩切平治議員 未収金が発生しているが、令和7年度から公営企業会計で処理される簡易水道事業に承継されるのか。

令和5年度
予算合計
980万円

- A 後期高齢者医療 保険料 384万円
- B 使用料及び手数料 0万円
- C 寄付金 0万円
- D 繰入金 403万円
- E 繰越金 156万円
- F 諸収入 35万円

後期高齢者医療歳入



令和5年度
決算合計
714万円

- A 後期高齢者医療 保険料 271万円
- B 使用料及び手数料 0万円
- C 寄付金 0万円
- D 繰入金 266万円
- E 繰越金 156万円
- F 諸収入 20万円

徳田保議員 芋苗植え、芋掘報酬5万5千円とありますが、この内訳をおしえていただきたい。

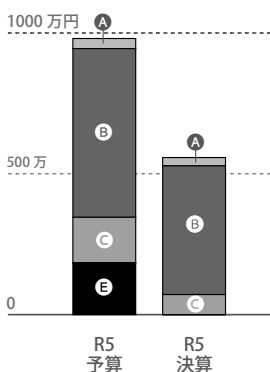
【概要】・11頁下のグラフを参照
【質疑】



令和5年度
予算合計
980万円

- A 総務費 35万円
- B 後期高齢者医療 広域連合寄附金 599万円
- C 保険事業費 162万円
- D 諸支出金 0万円
- E 予備費 183万円

後期高齢者医療歳出



令和5年度
決算合計
557万円

- A 総務費 29万円
- B 後期高齢者医療 広域連合寄附金 456万円
- C 保険事業費 71万円
- D 諸支出金 0万円
- E 予備費 0万円

定住促進課長 大里では村の畑を利用して老人会の皆さんにお願いして芋を作ってもらっている。芋の買い上げはなく、2重取りはない。

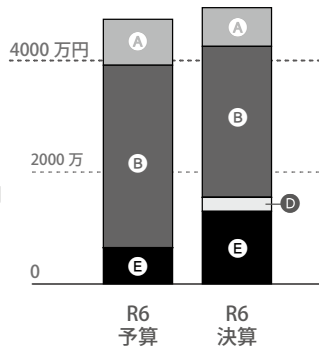
徳田保議員 委託で芋を作っているのになぜ賃金が発生するのか。

定住推進課長 こちらの芋苗植え、芋掘りは大里の老人会の皆さんの報酬であります。

水道事業歳入

令和6年度
予算合計
4738万円

- A 簡易水道事業収入 822万円
- B 繰入金 3265万円
- C 諸収入 0万円
- D 繰越金 0万円
- E 村債 650万円



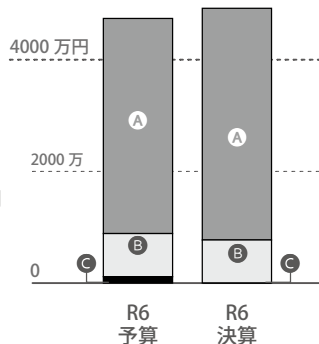
令和6年度
決算合計
4946万円

- A 簡易水道事業収入 692万円
- B 繰入金 2704万円
- C 諸収入 0万円
- D 繰越金 249万円
- E 村債 1300万円

水道事業歳出

令和6年度
予算合計
4738万円

- A 簡易水道事業費 3851万円
- B 公債費 771万円
- C 予備費 115万円



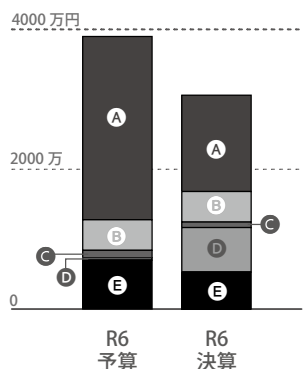
令和6年度
決算合計
4920万円

- A 簡易水道事業費 4148万円
- B 公債費 771万円
- C 予備費 0万円

特産品焼酎事業歳入

令和6年度
予算合計
3898万円

- A 焼酎事業収入 2622万円
- B 繰入金 436万円
- C 諸収入 107万円
- D 繰越金 33万円
- 国庫支出金 0万円
- E 県支出金 700万円



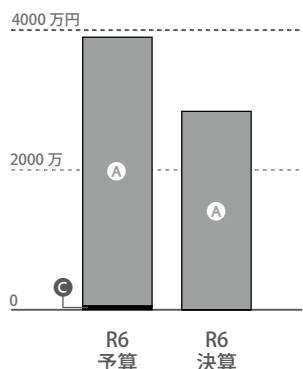
令和6年度
決算合計
3059万円

- A 焼酎事業収入 1377万円
- B 繰入金 436万円
- C 諸収入 78万円
- D 繰越金 635万円
- 国庫支出金 0万円
- E 県支出金 530万円

特産品焼酎事業歳出

令和6年度
予算合計
3898万円

- A 焼酎製造事業費 3848万円
- B 諸支出金 0万円
- C 予備費 50万円



令和6年度
決算合計
2838万円

- A 焼酎製造事業費 2838万円
- B 諸支出金 0万円
- C 予備費 0万円

令和6年度
三島村明許繰越会計歳入歳出
決算認定

【採決】可決

【概要】・12頁上のグラフを参照

令和6年度
三島村船舶交通事業特別会計
歳入歳出決算認定

【採決】可決

経済課長 調査の過程で実地調査から調査分析調査に変更するなど行ったことによるものである。

不用が発生した理由は何か。

岩切平治議員 大里港の潮流調査事業の290万円の

【概要】・12頁下のグラフを参照
【質疑】

山田和広議員 土地家屋購入費106万5千円は、どの島で何の使用目的での購入か。

【概要】・13頁のグラフを参照
【質疑】

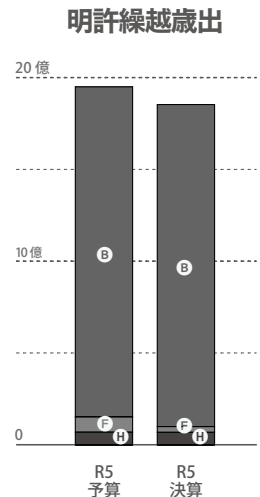
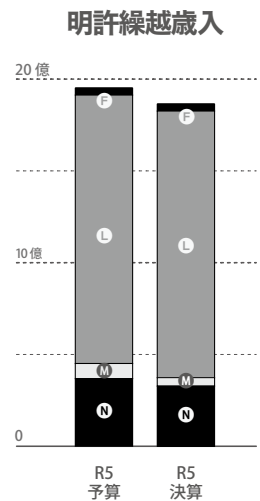
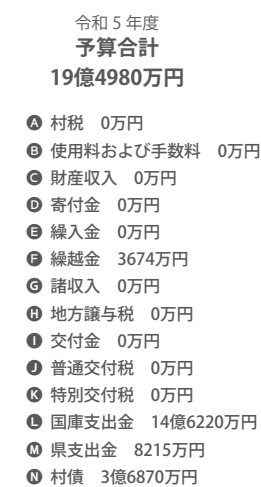
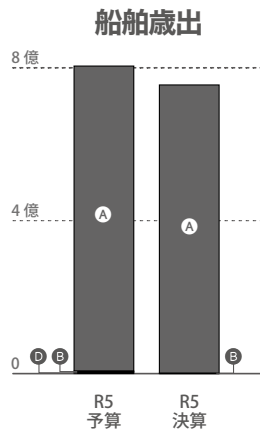
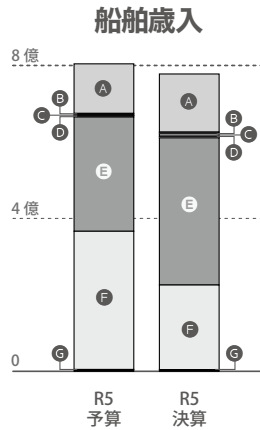
令和6年度
三島村一般会計歳入歳出決算
認定

【採決】可決

総務課長 団員の公務災害関係の負担金・退職金などの負担金となっております。

山田和広議員 消防補償等負担金とは何か。

総務課長 硫黄島地区で、教員住宅として使用する為に購入した物件です。



山田和広議員 地籍調査事業は長く行っているが、現在の進捗状況は。

経済課長 地籍調査事業の現在の進捗率は8%となっております。

山田和広議員 本年度も畜産振興費に9453万3573円と高額

予算が払われている。高額な重機等の道路放置や雑な使用による故障や事故等も報告されている。どう考えているか。

経済課長 現在故障等により大型重機が道路横で動かせずに置いてあり、畑にも放置等あります。今後使用者の免許提出や後片づけの徹

底指導していきます。

山田和広議員 黒島の竹林改良で実績のない所に予算を出すべきではないとの意見があった。昨年は筍が黒島に限らず全島で不作（裏年）であり、黒島では人員不足で収穫まで結びつかなかった。改良から3年、3haという狭い土地で結果

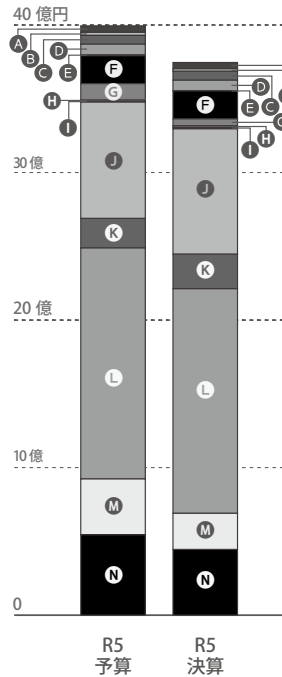
を出すには急ぎ過ぎている。今後、住民との連携を組み、それからの実績であってほしい。

経済課長 黒島の竹林改良におきましては、今後実績アップの為に一層の連携を図り、筍生産の効率を上げていきたいと思っています。

一般会計歳入

令和5年度
予算合計
39億9435万円

- ▲ 村税 4448万円
- ▲ 使用料および手数料 2029万円
- ▲ 財産収入 5963万円
- ▲ 寄付金 7092万円
- ▲ 繰入金 720万円
- ▲ 繰越金 1億8942万円
- ▲ 諸収入 1億885万円
- ▲ 地方譲与税 955万円
- ▲ 交付金 679万円
- ▲ 普通交付税 7億8828万円
- ▲ 特別交付税 2億45万円
- ▲ 国庫支出金 15億6542万円
- ▲ 県支出金 3億7829万円
- ▲ 村債 5億4474万円



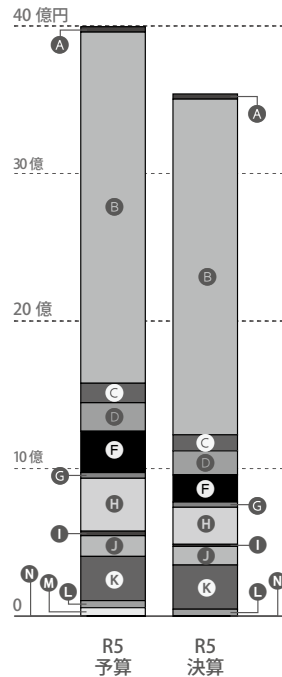
令和5年度
決算合計
37億4584万円

- ▲ 村税 4282万円
- ▲ 使用料および手数料 1673万円
- ▲ 財産収入 6072万円
- ▲ 寄付金 7208万円
- ▲ 繰入金 58万円
- ▲ 繰越金 1億8942万円
- ▲ 諸収入 4661万円
- ▲ 地方譲与税 987万円
- ▲ 交付金 1087万円
- ▲ 普通交付税 8億4969万円
- ▲ 特別交付税 2億3406万円
- ▲ 国庫支出金 15億2211万円
- ▲ 県支出金 2億4507万円
- ▲ 村債 4億4517万円

一般会計歳出

令和5年度
予算合計
39億9435万円

- ▲ 議会費 3632万円
- ▲ 総務費 23億7992万円
- ▲ 民生費 1億3191万円
- ▲ 衛生費 1億9389万円
- ▲ 労働費 0万円
- ▲ 農林水産業費 2億7957万円
- ▲ 商工費 3890万円
- ▲ 土木費 3億5834万円
- ▲ 消防費 3059万円
- ▲ 教育費 1億4029万円
- ▲ 公債費 2億9957万円
- ▲ 諸支出金 4806万円
- ▲ 予備費 5629万円
- ▲ 災害復旧費 64万円



令和5年度
決算合計
35億3899万円

- ▲ 議会費 3517万円
- ▲ 総務費 22億7507万円
- ▲ 民生費 1億881万円
- ▲ 衛生費 1億6269万円
- ▲ 労働費 0万円
- ▲ 農林水産業費 1億8404万円
- ▲ 商工費 3587万円
- ▲ 土木費 2億5085万円
- ▲ 消防費 1405万円
- ▲ 教育費 1億2629万円
- ▲ 公債費 2億9945万円
- ▲ 諸支出金 4600万円
- ▲ 予備費 0万円
- ▲ 災害復旧費 64万円

山田和広議員

水産業の事業が一つつもないのはおかしい、宝の海をいかした事業展開を考えてほしい。

経済課長

漁業者の実績をふまえて、漁師の育成やあり方を考慮し水産業の発展・推進を計りたい。



山田和広議員

道路管理費では、人材不足なので、重機等の活用をどう考えているのか。

経済課長

道路伐採業務につきましては、前から人手不足の話は聞いております。今後、重機等の活用を視野に入れることを考えながら進めたいと思います。

山田和広議員

住宅建設費 片泊地区は使用していない住宅が3棟あ

る。新築や改装した住宅も使用しないとダメになる。教員優先で村住も使用されている傾向にあると聞く、赴任された先生方の住宅ももちろん大事だが、定住希望者が来ても受け入れが出来ない事があつてはならない、どう考えるか。

教育委員会事務局長

片泊の住宅を教育委員会が優先的に使用していることは考えておりません。ゲストハウス後の住宅に関しては、現在しおかげ里親の見学者がおり候補として扱っています。

経済課長

空き家の管理は、現在出張所長となっており、通気等お願いしておりますが、使用者が定住者・教員等により管理者が曖昧となっております。今後住宅管理等で、風通し・環境整備を地元にお願ひするなど、検討し決めたと思います。

山田和広議員

みしまカップは中止でしたが、準備していた物など内訳を教えてください。

定住促進課長 看板・ポスター・

商品などで25万6500円、Tシャツ代116万4350円、プラカード制作・事務局代行準備・印刷及び制作経費・無線機リース料・他経費及び管理費で37万4500円となっています。



山田和広議員 ジオパーク

関係で346万6352円がおおざっぱなので説明を求む。

定住促進課長 全てが委託料で

内訳が、交流型ジオツアー（硫黄島）4万8200円、鬼界カルデラGPワンデークルーズツアー95万112円、外部教師によるジオ学園授業80万円、ジオパークカレンダー作成134万9414円、竹島ジオツアー33万2026円、ジオパークパネルデザイン業務27万2800円となっています。

山田和広議員 各島で協力隊・集

落支援員など多数いるが、地域を隔てると動きが見えず、頑張つて地域貢献しているのに誤解された情報が出たりしており、あつてはならな

い事である。今後、そんなことがないように施策を講じるべきである。

定住促進課長 各島で頑張つてい

る協力隊の方々が、何をしているのか。他の島の住民にも共通して見ていただける様な取り組み・広報誌やイベント参加の報告などいろいろ考えたいと思います。

山田和広議員 提案公募型補助金

は、どのように使われたのか。

定住促進課長 片泊地区・盆行事

中コンサート事業、大里地区・幼児、老人へのレクレーション、竹島地区・あいあい会館使用設備安全対策、硫黄島地区・来訪神パンフレット作成事業等でした。

山田和広議員 移住・定住・交流

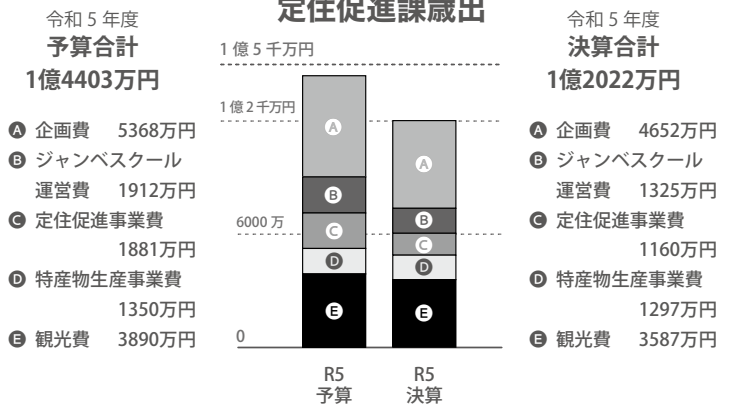
関連助成事業の説明を求めます。

定住促進課長 この事業は、特産

品の開発や制作に関わる関係の事業費にあてています。

山田和広議員 レンタサイクル事業

定住促進課歳出



は、人気があつたと思うが再開はなのか。

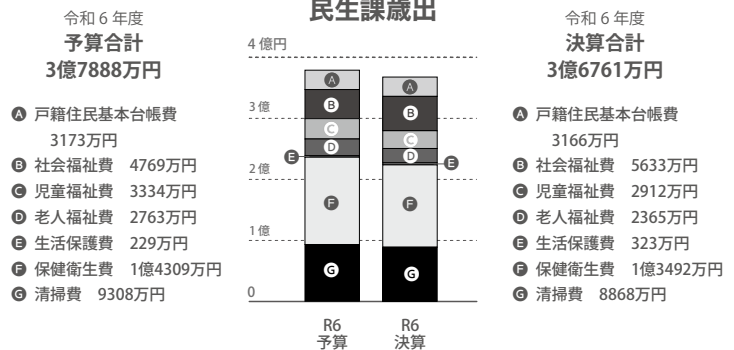
定住促進課長 レンタサイクルは、

コロナ前観光客等に人気でしたが、管理や整備維持の長期的な問題があります。課題を克服できたら、改めて考えたいと思います。



徳田保議員 村営住宅共用部光熱費はどのような住宅なのか。

民生課歳出



定住促進課長 住宅共用の光熱費につきましては、大里地区の共同住宅になります。隣接している街燈の光熱費である。

徳田保議員 刈払機替刃消耗品

47万8133円は、どういった所で使っているものか。

経済課長 刈払機の替刃が多くな

った。今回は、硫黄島の山火事の関係で大きな額となった。



経済課長 待合所の清掃は村の方
にお願いしている賃金である。

るのか。



徳田保議員 持合所清掃報
酬は、どなたかが行ってい

経済課長 これからは検討してま
いります。

徳田保議員 清掃は職場の人達が
自分でやっていくべきと思うが。

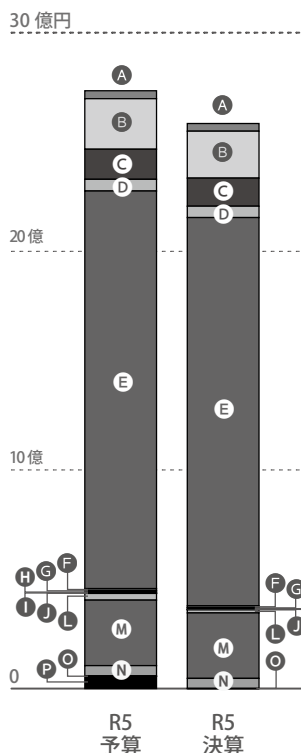


宮田穂議員 大里の体育館
にカーテンと網戸が設置さ
れて、投票所としてもよい環境にな
りました。カーテンは1/3、網
戸は半分ほど残ってるので、引き続
きお願いします。それと、投票の

令和5年度 予算合計 27億3437万円

- A 議会費 3632万円
- B 一般管理費 2億3115万円
- C 財産管理費 1億3759万円
- D 庁舎及び公共施設等
維持運営費 5349万円
- E 高速通信事業費
18億1847万円
- F ふるさと納税事業費
829万円
- G 徴税費 372万円
- H 選挙費 794万円
- I 統計調査費 28万円
- J 監査委員費 192万円
- K 労働費 0万円
- L 消防費 3059万円
- M 公債費 2億9957万円
- N 諸支出金 4806万円
- O その他公共施設公用施設
災害復旧費 64万円
- P 予備費 5629万円

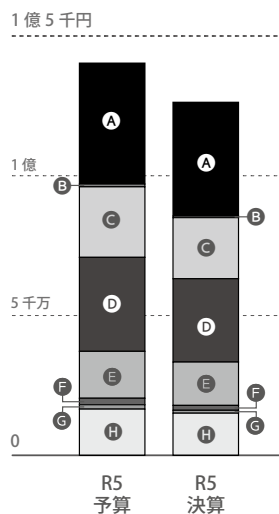
総務課歳出



令和5年度 決算合計 25億8453万円

- A 議会費 3517万円
- B 一般管理費 2億1456万円
- C 財産管理費 1億2847万円
- D 庁舎及び公共施設等
維持運営費 5192万円
- E 高速通信事業費
17億7561万円
- F ふるさと納税事業費
777万円
- G 徴税費 180万円
- H 選挙費 718万円
- I 統計調査費 27万円
- J 監査委員費 156万円
- K 労働費 0万円
- L 消防費 1405万円
- M 公債費 2億9945万円
- N 諸支出金 4600万円
- O その他公共施設公用施設
災害復旧費 64万円
- P 予備費 0万円

教育委員会歳出



令和5年度 予算合計 1億4029万円

- A 教育委員会総務費 4325万円
- B 教員住宅維持補修費 99万円
- C しおかぜ留学推進費 2523万円
- D 義務教育学校費 3362万円
- E 外国青年招致事業費 1677万円
- F 社会教育総務費 231万円
- G 史跡郷土民芸保存費 157万円
- H 保健体育総務費 1652万円
- I 災害復旧費 0万円

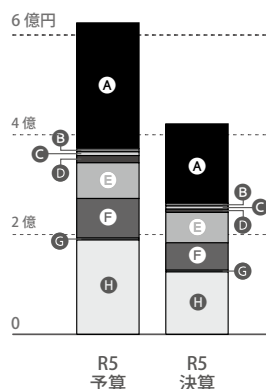
令和5年度 決算合計 1億2629万円

- A 教育委員会総務費 4068万円
- B 教員住宅維持補修費 59万円
- C しおかぜ留学推進費 2183万円
- D 義務教育学校費 2981万円
- E 外国青年招致事業費 1551万円
- F 社会教育総務費 175万円
- G 史跡郷土民芸保存費 103万円
- H 保健体育総務費 1506万円
- I 災害復旧費 0万円

令和5年度 予算合計 6億2442万円

- A 農業費 2億5233万円
- B 林業費
(R2~特産物生産費除く)
628万円
- C 水産業費 744万円
- D 土木管理費 1450万円
- E 道路橋梁費 7152万円
- F 港湾建設費 7937万円
- G 空港整備事業費 389万円
- H 住宅費 1億8905万円
- I 災害復旧費 0万円

経済課歳出



令和5年度 決算合計 4億2192万円

- A 農業費 1億5915万円
- B 林業費
(R2~特産物生産費除く)
555万円
- C 水産業費 637万円
- D 土木管理費 648万円
- E 道路橋梁費 6084万円
- F 港湾建設費 5500万円
- G 空港整備事業費 346万円
- H 住宅費 1億2505万円
- I 災害復旧費 0万円

際にスポットクーラーを4台置いた
ら配線の問題で全て稼働できなかった。
全国的に小中学校の体育館には
エアコン設置という動きなので検
討してほしい。

今年の4月稼働した焼却炉は半
年経っていないが、耐熱煉瓦等の劣
化が早いのか、黒煙や炎が噴き出
してくる。メンテナンスの経費はみ
ているか？メーカーや施工業者と連
携のとれる環境を整えてほしい。

民生課長 定期的なメンテナンスの
声は他の地区からもあり、予算化
していきたい。

令和6年度
財政健全化判断比率

【採決】可決

令和6年度
資金不足比率

【採決】可決

令和7年度
三島村一般会計補正予算（第
2号）

【採決】可決

令和7年度
三島村船舶交通事業特別会計
補正予算（第1号）

【採決】可決

【質疑】

岩切平治議員 歳出の所で
職員手当等200万円は、

人員不足により発生したとの説明
だったが、現在はどうなったのか。

船舶課長 16名の定員中、現在

15名であり1名分を月25万円
で計算し時間外手当として支給し
ている。募集中の人員がうまれば、
この手当分は解決されるが、今現
在はまだである。

岩切平治議員 欠員一人を埋めるた
めに必要となるがなぜ超過勤務で
対応するのか。

船舶課長 通常は16人でシフト
を組んでいるが、欠員が生じたため、
シフトに穴が開くことになり、勤
務しない日に勤務してもらうことに
なることから、変則勤務制の勤務
体系のため、穴を埋めるために勤
務した場合は休日出勤扱いとなり

超過勤務手当が必要なる。

令和7年度
三島村国民健康保険特別会計
補正予算（第1号）

【採決】可決

令和7年
度三島村介護保険特別会計補
正予算（第1号）

【採決】可決

令和7年度
三島村後期高齢者医療特別会
計補正予算（第1号）

【採決】可決

令和7年度
三島村特産品焼酎事業特別会
計補正予算（第2号）

【採決】可決

インターネットによる誹謗中
傷等の防止を目的とする条例
提案を要望する決議

【採決】可決



10月29日～31日 東京都
第43回全離島振興議長全国大会にて。
参加した国會議員に三島村への国の支援
をお願いしてまわる長濱議長と山田副議
長。写真中央は衆議院議員 宮路拓馬氏。

編集

議長 長濱 義人
議員 徳田 保
議員 岩切 平治
議員 中原 良範
議員 日高 学
議員 山田 和広
議員 宮田 穰

デザイン 編集 棚次 理

発行

鹿児島県三島村議会
〒892-0082
鹿児島県鹿児島市名山町12番18号

※ 本誌は議会の内容を要約したもので
やりとりの順番などが実際と異なりま
す。正式な記録は各出張所などにある議
事録でご確認ください。